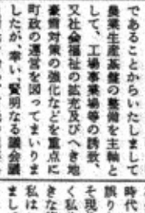
川口町
公民館報
第106号
発行人 古田島 正
印刷所 山勝堂印刷所

昭和四十五年度 町政大綱
町長所信表明



ここに、昭和四十五年三月定例議会を招集し、新年度予算並びに、各種関係議案を提出するにあたり、予算の概要とあわせて、所信の一端を申し述べたいと思います。

私は町長就任以来、今日まで町民の附託にこたえるため常に町民福祉の向上を念願し、調和と均衡のとれた、明るい福祉町の実現を目標に、先ず、道路河川などの整備による社会資本の充実を図ることも、本町が農業立町の町であることからたいしまして、農業生産基盤の整備を主軸として、工場事業場等の誘致、又社会福祉の拡充及びへき地妻帯対策の強化などを重点に町政の運営を図ってまいりましたが、幸い、貴別なる議会議員諸氏を始め、町民の理解あるご協力によりまして、町内幹線道路の整備、農業構造改善事業、又、県立蚕業試験場等各種工場事業場の誘致、山振法に基づく生活改善センターの建設、大型除雪機械の導入本県で最初の総合福祉センターの建設、あるいは、公営住宅の建設や駅舎増改築などの事業が着々とその成果を見つつある段階に至り、大きく町勢の前進を図り得たものと確信いたしておる次第であります。今や経済文化の急速な進展と相挽って、産業は益々高度化し、住民の日常生活も亦多様化の余儀なきに至り、全国的風潮に即し、多くの分野で転換期び住民の福祉の増進を図ってまいりました。

私はこれらの重要問題につきましては、国策の指導方針を根幹といたしまして、慎重に計画を進め、関係各位の意見を尊重し、又、県立蚕業試験場等卒直に承わり渾身の努力をいたすと同時に、町民福祉向上のため、今後とも町政の各般にわたり、きめ細かい配慮をは、全力を傾注いたしてまいる所存であります。さて、昭和四十五年度の予算でございますが、ご承知のとおり、新年度の国の予算は、前年度の場合と同様、経済の持続的成長の確保と物価の安定を眼目として編成されることとなれ、特に財政面から景気を刺激することのないよう公債の発行額を縮減し、又所得税及び法人税の減税を行なうとともに、歳出内容については、歳出内容の変化に即応した社会経済情勢の変化に即応した整備更新を行ない、重点施策の遂行を図ることを基本とし、この目的のためには消費的経費はこれを最低に、限にとどめ慎重にして計画的な予算編成に、増大する交通需要にも対応しまして、地方公共団体いたしており、地方公共団体に対しても国の施策に即応した予算の編成を要請しておるのであります。従いまして、昭和四十五年度の予算編成にあたりまして、国の予算編成方針を基礎といたし、先ず国県補助金の増額に意を用い最急経費の度合をよくみきわめ、財政の秩序を保ち、適正な財政運営を行なうことといたした次第であります。

一般会計予算について、その概要をご説明申し上げますと、新年度の予算は、前年度と同様、給与改訂の平年度化これに加えて、後期補正予算、ならびに、繰越すべき要素が多分にあるのであります。而しながら前に申し述べましたとおり、町民福祉の向上を図るため、より積極的に施策を推進することとし、このためには消費的経費はこれを最低に、限にとどめ慎重にして計画的な予算編成につきましては、前年度同様一応人事院勧告の最低限度である5%アップ相当額を本予算に組み入れましたけれども、勧告の完全実施が予想されるなど、それ、繰越すべき要素が多分にあるのであります。而しながら先として、これに新規事業を優先いたした次第であります。

次に、へき地妻帯対策の強化でありますが、へき地の実態は立地条件その他複雑多岐にわたる困難性があり、また、当面の重要課題である米の生産調整などはその解決に焦眉の急を要する事項でありますが、このように徹動する社会情勢下におきましては、時代の流れを的確に把握し、誤りなく歩みを進めることこそ現代に生きる者、なかんづく私共為政者に課せられた大きな使命であります。よって私はこれらの重要問題につきましては、国策の指導方針を根幹といたしまして、慎重に計画を進め、関係各位の意見を尊重し、又、県立蚕業試験場等卒直に承わり渾身の努力をいたすと同時に、町民福祉向上のため、今後とも町政の各般にわたり、きめ細かい配慮をは、全力を傾注いたしてまいる所存であります。さて、昭和四十五年度の予算でございますが、ご承知のとおり、新年度の国の予算は、前年度の場合と同様、経済の持続的成長の確保と物価の安定を眼目として編成されることとなれ、特に財政面から景気を刺激することのないよう公債の発行額を縮減し、又所得税及び法人税の減税を行なうとともに、歳出内容については、歳出内容の変化に即応した社会経済情勢の変化に即応した整備更新を行ない、重点施策の遂行を図ることを基本とし、この目的のためには消費的経費はこれを最低に、限にとどめ慎重にして計画的な予算編成に、増大する交通需要にも対応しまして、地方公共団体いたしており、地方公共団体に対しても国の施策に即応した予算の編成を要請しておるのであります。従いまして、昭和四十五年度の予算編成にあたりまして、国の予算編成方針を基礎といたし、先ず国県補助金の増額に意を用い最急経費の度合をよくみきわめ、財政の秩序を保ち、適正な財政運営を行なうことといたした次第であります。

一般会計予算について、その概要をご説明申し上げますと、新年度の予算は、前年度と同様、給与改訂の平年度化これに加えて、後期補正予算、ならびに、繰越すべき要素が多分にあるのであります。而しながら前に申し述べましたとおり、町民福祉の向上を図るため、より積極的に施策を推進することとし、このためには消費的経費はこれを最低に、限にとどめ慎重にして計画的な予算編成に、増大する交通需要にも対応しまして、地方公共団体いたしており、地方公共団体に対しても国の施策に即応した予算の編成を要請しておるのであります。従いまして、昭和四十五年度の予算編成にあたりまして、国の予算編成方針を基礎といたし、先ず国県補助金の増額に意を用い最急経費の度合をよくみきわめ、財政の秩序を保ち、適正な財政運営を行なうことといたした次第であります。

次に、へき地妻帯対策の強化でありますが、へき地の実態は立地条件その他複雑多岐にわたる困難性があり、また、当面の重要課題である米の生産調整などはその解決に焦眉の急を要する事項でありますが、このように徹動する社会情勢下におきましては、時代の流れを的確に把握し、誤りなく歩みを進めることこそ現代に生きる者、なかんづく私共為政者に課せられた大きな使命であります。よって私はこれらの重要問題につきましては、国策の指導方針を根幹といたしまして、慎重に計画を進め、関係各位の意見を尊重し、又、県立蚕業試験場等卒直に承わり渾身の努力をいたすと同時に、町民福祉向上のため、今後とも町政の各般にわたり、きめ細かい配慮をは、全力を傾注いたしてまいる所存であります。さて、昭和四十五年度の予算でございますが、ご承知のとおり、新年度の国の予算は、前年度の場合と同様、経済の持続的成長の確保と物価の安定を眼目として編成されることとなれ、特に財政面から景気を刺激することのないよう公債の発行額を縮減し、又所得税及び法人税の減税を行なうとともに、歳出内容については、歳出内容の変化に即応した社会経済情勢の変化に即応した整備更新を行ない、重点施策の遂行を図ることを基本とし、この目的のためには消費的経費はこれを最低に、限にとどめ慎重にして計画的な予算編成に、増大する交通需要にも対応しまして、地方公共団体いたしており、地方公共団体に対しても国の施策に即応した予算の編成を要請しておるのであります。従いまして、昭和四十五年度の予算編成にあたりまして、国の予算編成方針を基礎といたし、先ず国県補助金の増額に意を用い最急経費の度合をよくみきわめ、財政の秩序を保ち、適正な財政運営を行なうことといたした次第であります。

次に、交通対策など町民体育の広場についてでありますが、財政計画の関係からいたしまして、本予算には計上いたしてありませんが、後増す交通事故に対処するため、交通マナーの徹底を図ることとし、更に町民の体育の広場として利用できる施設を本年度において整設すべく計画中であります。

次は、防災態勢の強化でありますが、先ず、消防団員には各種の訓練を通じて、その教養を深めることに重点をおくと同時に、非常事態に対処するため、消防機械の整備多少